



令和4年12月2日発行

恵那市教育環境等検討委員会だより

恵那市教育委員会 学校再編対策室

第1回委員会

◇開催日 令和4年8月30日(火)

◇委員長・副委員長の選任について

委員長は飯地地域自治区会長の瀬瀬佳恭さん、副委員長には地域学校協働活動推進委員の宮地喜義さんが選任されました。

◇恵那南地区の課題について

初回の会議では、委員会の取り扱う事務「恵那南地区の望ましい学校教育環境について検討する」ことをうけ、恵那南地区の教育環境として課題となっている、恵那南地区中学校再編について、経緯と現状について説明しました。

(内容)

- ・経緯について (※1 答申書の提出まで)
- ・答申内容
- ・統合に向けての課題の検討について
- ・保護者説明会の意見について

(委員の主な意見)

- ・この委員会で何を検討するのか。役割はなにか。
- ・答申が出ているのに、なぜ進めなかったのか。
- ・当事者意識をもつ小学生やこども園の保護者の意見を多く吸い上げながら、統合に向けて委員会でスピーディーに進めないとターゲットが変わってしまう。
- ・「統合についての検討は済んでいると思っていた。」
「場所さえ決まっていないのは話にならない。」等、多数の意見がありました。



第2回委員会

◇開催日 令和4年10月26日(火)

◇当委員会の役割について

当委員会の役割は「恵那南地区の望ましい学校教育環境について検討し、恵那市教育委員会へ提言すること、委員会で合意されました。

◇前回会議の意見のまとめから

委員会では、恵那南地区の教育環境の一番の課題は「早急に、恵那南地区中学校の統合を進める」として、委員会で合意されました。

また、平成28年3月に示された答申書の内容を踏まえ、委員会では子どものことを一番に考えることを重点に、特に重要な検討事項として通学方法、開校時期、新校の場所について検討されました。

(検討内容)

- ・通学方法については、答申では明知鉄道の利用が明記されていましたが、子ども達の安心・安全と通学の負担軽減を考えスクールバスが望ましい。
- ・開校時期については、急速な生徒数の減少が及ぼす教育環境の影響を考え子ども達のために早急に統合し、令和7年度(案)開校を目標にしてほしい。
- ・場所については、当初の答申で示された山岡町で1校とし、早く進めるために、新築から現存の山岡中学校校舎を増築又は改築し活用してほしい。検討された内容は、次回作成する提言書に盛り込むこととしました。



※1 諮問機関(行政)の問いを受け、回答として意見を述べる場合です。

恵那南地区中学校再編について、平成28年3月に恵那南地区中学校再編委員会より教育委員会へ答申されました。



恵那市教育環境等検討委員会だより

第3回委員会

◇開催日 令和4年11月29日(火)

◇前回会議の決定事項

- ①統合中学校は、山岡町で1校とし、既存の山岡中学校を活用する。
 - ②スクールバスの通学を基本とする。
 - ③早急に統合準備委員会を立ち上げる。
- 以上のことについて、委員会で再確認されました。

開校時期については、前回、事務局への宿題として、開校までの時系列について示すよう依頼されましたので、その報告を受けた後、決めていくことになりました。

事務局からは、①新中学校統合の準備委員会の立ち上げ、②スクールバス、③新中学校建設（増改築）についてスケジュールが示されました。

- ① 準備委員会では、多くの決め事をする必要があるため、専門部会（3部門）を立ち上げて決めていくことが必要である。
- ② スクールバスについては、各地域でルートを定め、必要なバスの台数を報告。中型5台、マイクロバス1台、ワゴン2台購入する必要がある。購入には1年半から2年必要。
- ③ 新中学校建設（増改築）では、基本設計や実施設計、工事をするとなると、3年は必要である。



（委員の意見）

- ・2年で統合すると決めて、結果3年かかるという話になると、またかと思う。前回のように、5年後に統合すると決めたのに、また今度ものびるという不信感にもつながる。ちゃんとこの年なら開校できると確信がもてる時期にしていきたい。
- ・この統合を一番心配しているのは関係している子どもたちや保護者であると思うので、その関係者の思いを受け止めて丁寧な説明をすることが必要であるし、受け止めることが大切。統合までの間に丁寧に話を聞き細かいところを決めていきたい。
- ・地域への説明もしながら、保護者の意見を大切に決めていきたい。

等、意見をいただいたあと、提言書に盛り込んでいく開校時期を令和8年度開校と決定されました。

最後に、提言書（案）の作成を委員長と副委員長に一任されました。

◇委員長・副委員長の挨拶

○委員長

委員会では恵那南地区の課題であった、恵那南地区中学校の統合について、多くの意見をいただき、この検討委員会で方向性を決め、提言内容が決まったことに対しお礼申し上げます。今回、恵那南地区の未来の子どもたちの為の教育環境として、本当に考える機会ともなりました。目標の提言ができましたので、この委員会は最後となります。ありがとうございました。

○副委員長

皆さんの力を借りて、これからの未来、無限の力を持っている子どもたちに良い機会を与えられたと思います。その子どもたちが、恵那に生まれてよかった、学べて良かったと思える中学校を作っていただきたいともいます。

本当にありがとうございます。

◇今後のスケジュール

委員長及び副委員長、委員長が推薦する委員と共に、12月中旬頃に恵那市教育委員会へ提言書を提出すると決められました。